

みんなで作ろう 安心の街

令和4年8月号 No. 97
(公財) 宮崎県防犯協会連合会

宮崎県の犯罪情勢（令和4年上半期）

今年上半期（1月～6月）における本県の刑法犯認知件数は1,711件で、前年同期と比べて36件減少しています。県内の犯罪情勢は、次のとおりです。なお、本統計資料の数値は暫定値です。

○ 罪種別の認知件数

区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
令和4年	1,711	17	150	1,154	141	17	232
令和3年	1,747	12	178	1,220	96	13	228
増減	-36	+5	-28	-66	+45	+4	+4

※ 刑法犯認知件数の約67%割は窃盗犯です。

○ 重要犯罪の認知件数

区分	総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取誘拐等	強制わいせつ
令和4年	28	3	2	7	5	0	11
令和3年	20	5	3	2	2	0	8
増減	+8	-2	-1	+5	+3	±0	+3

※ 放火、強制性交等、強制わいせつの凶悪犯罪が増加しています。

○ 主要罪種・手口別の認知件数

区分	侵入盗	自転車盗	万引き	車上ねらい	詐欺	強制わいせつ	器物損壊等
令和4年	101	428	268	45	128	11	134
令和3年	113	373	309	87	85	8	129
増減	-12	+55	-41	-42	+43	+3	+5

※ 窃盗犯のうち、自転車盗が約4割を占めています。

※ 自転車盗の約74%は施錠をしていませんでした。

※ 万引きの検挙人員は165人で、その約半数は65歳以上の高齢者です。

○ 特殊詐欺（うそ電話詐欺）の被害状況（全国は5月末、宮崎県は6月末現在）

区分	認知件数	前年同期比	被害額	前年同期比
全国	6,060	+524	121億7,000万円	+14億1,000万円
宮崎県	31	+26	1億16,66万円	+1億1,037万円

※ 認知件数、被害額ともに大幅に増加しています。

夏の地域安全運動実施中 8/1(月)～8/31(水)

運動の重点

① 特殊詐欺の被害防止～「STOP！うそ電話詐欺」

今年は、架空料金請求詐欺と還付金詐欺が急増しており、これらの手口が全体の9割を占めています。一人で判断せず、警察安全相談電話（#9 1 1 0）に電話してください。

② 乗り物や住宅の「鍵かけ」運動の推進

自転車盗難被害の73%は無施錠です。二重ロックを心がけましょう。また、空き巣ねらいなどの侵入盗被害の多くは無締りです。外出時の鍵かけを徹底しましょう。

③ 子供や女性に対する犯罪の被害防止

県民が不安を感じる強制わいせつ等の性犯罪が依然として後を絶ちません。特に夏の時期は、子供や女性が性犯罪の被害に遭う危険性が高まります。

④ 夏休み期間中の少年の非行・被害防止

夏休み期間中は、少年が外出する機会も増え、開放感から不良行為に走ったり、SNS等を通じて犯罪に巻き込まれる危険性も高くなります。地域全体で子供たちを見守り、健全に育てていきましょう。